

草津白根山

○火山活動度レベル (平成 17 年 10 月)

1 (静穏な火山活動)

○概況 (平成 17 年 10 月)

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

○地震及び微動の発生状況

火山性地震の発生回数は1日あたり0～2回と少なく、静穏に経過しました (図1)。
火山性微動は観測されませんでした。

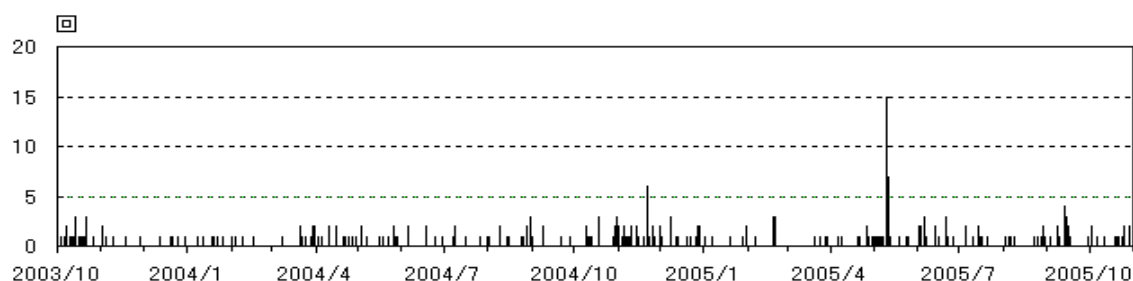


図1※ 草津白根山 日別地震回数 (2003年11月1日～2005年10月31日)

○地殻変動の状況

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした (図2)。

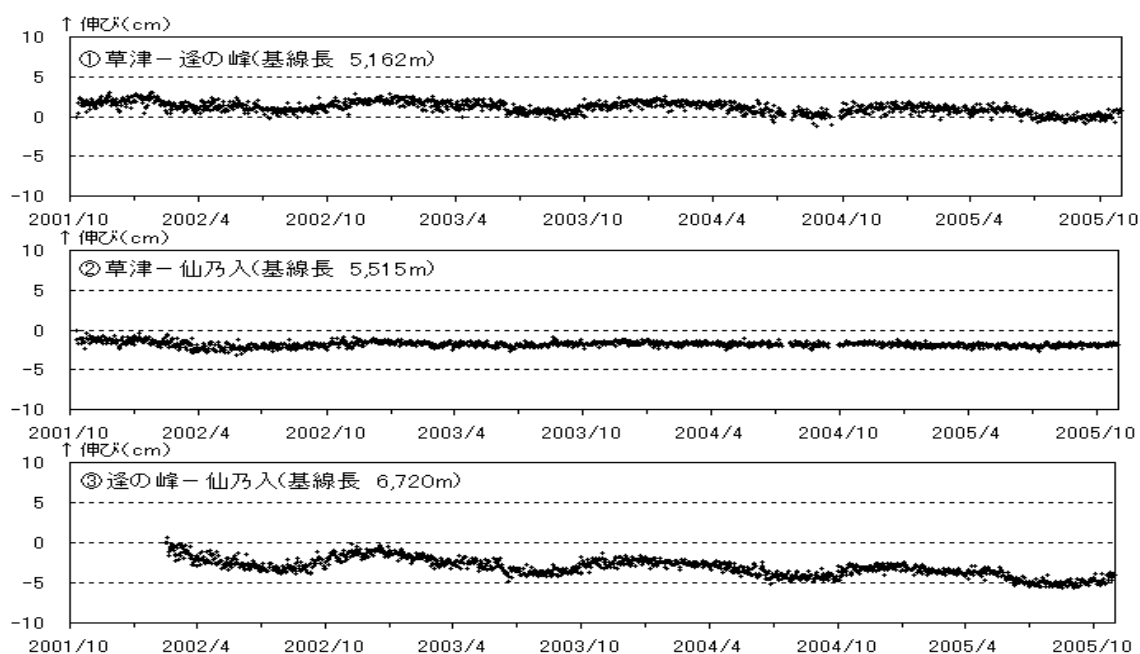


図2 草津白根山 GPS連続観測による基線長変化 (2001年10月1日～2005年10月31日)

基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変動です。

※この資料は気象庁のほか、東北大学、東京大学、京都大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等を利用して作成しています。

○噴煙の状況

逢ノ峰に設置してある遠望カメラでは、湯釜火口縁を越える噴煙は観測されませんでした。

○全磁力観測による熱の状況

気象庁地磁気観測所が10月4～6日に実施した全磁力の繰り返し観測¹⁾によると、湯釜付近の直下での温度低下を示す全磁力値の変化が続いています。(図3)。

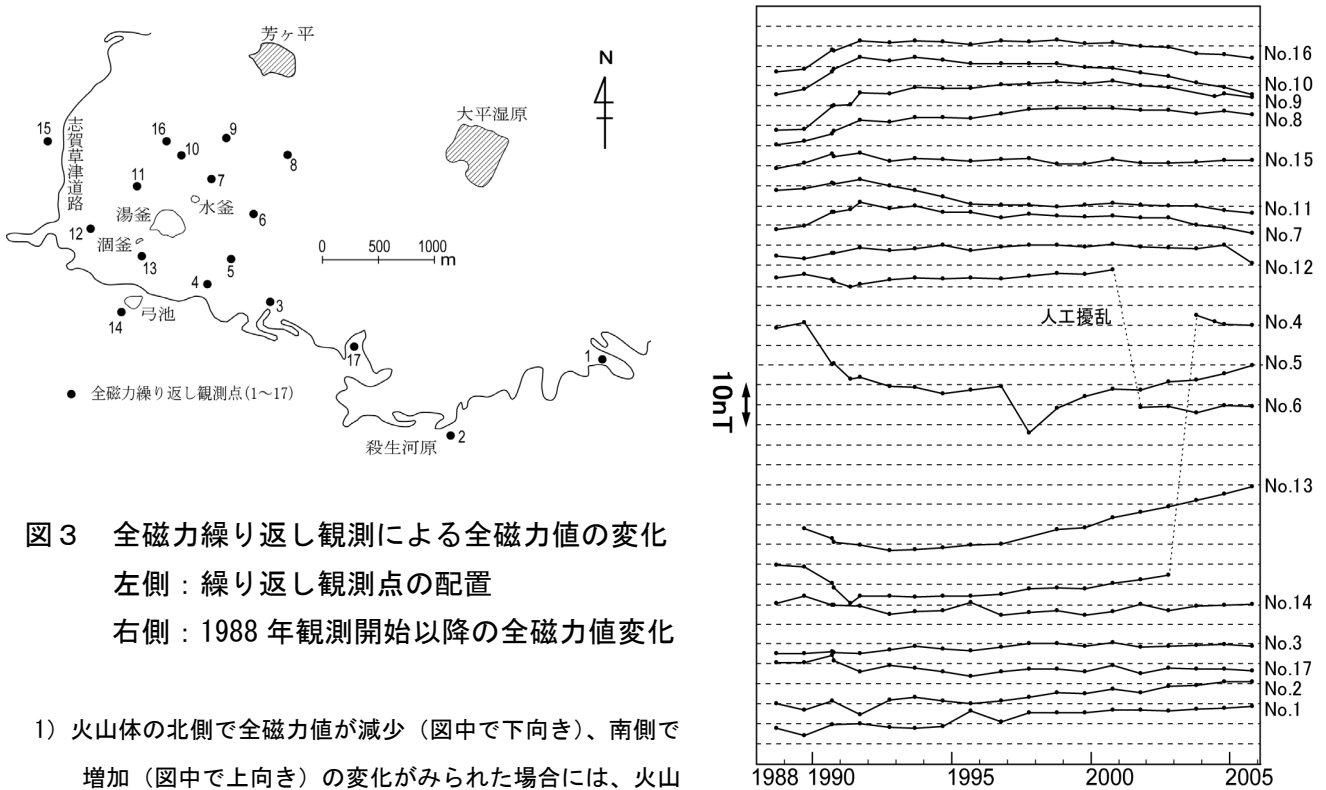


図3 全磁力繰り返し観測による全磁力値の変化
 左側：繰り返し観測点の配置
 右側：1988年観測開始以降の全磁力値変化

1) 火山体の北側で全磁力値が減少(図中で下向き)、南側で増加(図中で上向き)の変化がみられた場合には、火山体内部で温度低下があったと考えられます。

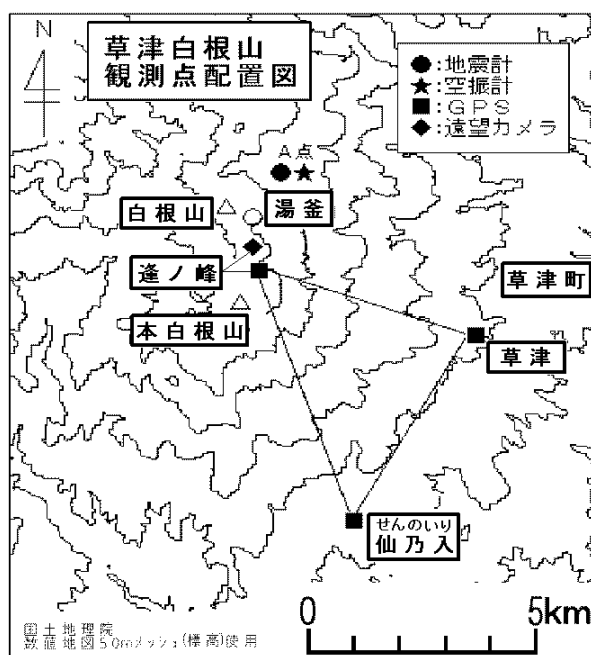


図4 草津白根山 気象庁の観測点配置図